

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	町民課					
基本構想	戦略的行政運営		重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)				
予算等事業名	町民活動サポートセンター管理運営事業							
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。 ・行財政運営の効率化による経費の重点配分。 							
内容	にのみや町民活動サポートセンターの管理運営を行い、町民参加と町民活動の推進を図る。							
根拠法令・条例等	にのみや町民活動サポートセンター設置及び管理等に関する規則 二宮町町民参加活動推進条例							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持					
	B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある					
	C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)					
	【説明】					

総合評価

実績	—				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	利用者数				
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	利用者数の設定は行っていないが、前年度より多い人数に利用者数を目標としています。	
	3,410人				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,395	5,248				
財源内訳	一般財源	5,395	5,248				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民活動推進条例に基づき、町民活動団体が交流したり、情報収集できる場を提供することは必要であり、適切な事業展開である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 実際に使用するのがNPO団体等になるので、施設使い方や運営の方法はNPOに任せられた方がよいのだが、現在そのようなNPO団体が無いので、町で管理運営を行っていく。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町民活動団体の意見を聴取して開設した施設であるが、手狭なことや駐車スペースがないことから、団体の会議、打ち合わせなどの利用が増えていない	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 交流コーナーをはじめ、さまざまな機能を持った施設として運用するなかで、1名の職員で対応している。しかし、町民活動サポートセンター施設は民間の方の建物を賃借しているので、町の施設に移すことで経費削減が図れる。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 町民活動推進条例に基づき、ボランティア活動の拠点となるサポートセンターを提供することは大事なことである。しかしここ数年利用団体の伸び悩みから場所、時間等の検証が必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	利用者数・利用団体をどの様に伸ばしていくのが今後の課題です。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民活動の拠点として非常に重要な施設であるが、前年度に対して利用団体数が減少しているため。		
今後の方向性	施設の利用促進について、町の広報・HP等を通じてより一層PRしていく必要がある。また、町民、又は団体の相談等に適切に対応できるよう相談機能の強化を図っていく必要がある。経費面においても、他の公共施設に統合できないかということも今後の課題である。		